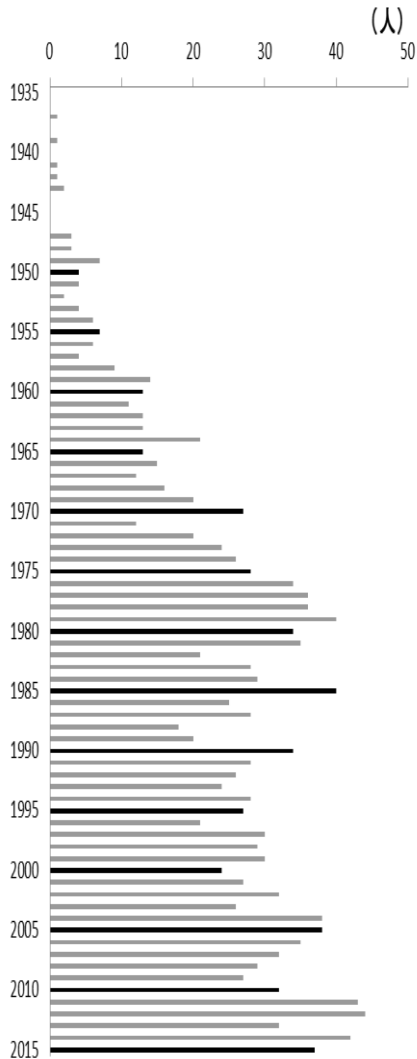


卒業年度別の千葉支部会員数

先輩からのお便り

理科Ⅱ回 半田 節子



千葉支部総会員数：1644 名（2015 年 10 月現在）

戦後 70 年を生きて

津田塾卒業生と名乗り、理科ですと付け加えると、相手の顔が訝しげになることが少なくありません。津田と言えば英語教育が常識なのでしょう。戦時中に、物理化学科と数学科とで構成された専門学校理科として増設されましたが、物理化学科は 5 回生の卒業までで廃止となり、数学科は新制大学へ引き継がれました。英語は敵国語という社会情勢のなかでの塾の存続のためともいわれますが、津田梅子先生が若き日に生物学を専攻されたことと無縁のはずはなく、女子の高等教育での科学という位置付けがあったと思います。

私は 1945 年、理科 2 回生として物理化学科に入学しました。高等女学校 4 年終了での受験が可能になっていましたが、その後半は勤労働員で軍需工場へ通う毎日でした。学力の低下は言うまでもないでしょう。学び舎は、体育館は学校工場、校庭は芋畑に、校舎や寄宿舎の一部は軍に提供されていました。同じ年の東京大空襲により住居を失っていた私は、入学とともに東寮での寄宿生活をはじめました。畑で採れた芋の茎が食料になったり、近くの農家に牛乳を求めに行ったり等、遠い出来事のように、今年戦後 70 年の節目にあって、あちこちで戦中戦後が語られるなかで、18 歳という少女時代へタイムスリップしました。終戦の玉音放送は小平のキャンパスで聴いたのでした。

新設の理科でしたが、優秀な先生方による教育が資材不足などの困難な中ですすめられました。学力不足で入学、3 年制での卒業、意識の低さなどで十分に学ぶことをしなかった私は、社会に出てから本当の学習の意味を知ることになりました。

文部省科学官菅井準一氏の推薦により物理化学科の専任教授として迎えられていた三石巖先生に、生活の中にある科学的なものの考え方や、知識の詰め込みではなく、自ら創造する姿勢をめざす生き方を示していただきました。卒業後の就職でも先生の力添えをいただき、子ども向け科学雑誌や教科書の編集などを経験したことが、子育てと平行して取り組むことになった社会教育の活動、生涯学習の仲間づくりにつながっていきました。

「分子栄養学による健康自主管理」を三石先生が提唱され、津田塾理科の先輩たちと開始された運動に、私は 50 歳という人生の節目で参加いたしました。それは分子生物学や細胞生物学などの生命科学との出会いであり、興味が尽きません。自分自身の老化を対象化して、毎日発見する日々です。記事に書き、話をし、若い世代に伝える仕事を、87 歳になった今日も続けていられることに幸せを感じています。

出欠のご連絡は
2月5日までに
お願いします。み
なさまのご参加
を心よりお待ち
しております。

52 円
切手

〒279-0042

浦安市東野 3-38-4

越智 由美 行



津田塾大学同窓会千葉支部

Andante (アンダンテ)

発行人：津田塾大学同窓会千葉支部
 発行責任者：藤本加代子
 電話：047-380-7705
 編集部：苅谷美加代 越智由美
 武井淳子 西村紅美子
 合田明巳

新春のお慶びを申し上げます。

皆さま、如何お過ごしですか？

第5回千葉支部総会のご案内を申し上げます。会場は昨年好評だった東京ディズニーランドホテルです。文学、政治、芸術と多方面でご活躍の同窓生・田嶋陽子様、講演を賜る予定です。歯切れのいいトークが楽しみです。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

2014年4月に浦安地区が支部運営を引き継ぎました。支部活動を通して大勢の同窓生の方々との意義深い出会いがありました。大学で培った津田スピリットで誠実に懸命に生きている同窓生諸姉に触発され、励まされ、そして暖かいご支援を頂きました。心よりお礼申し上げます。

次年度から支部運営は千葉地区に変わります。同窓会のネットワークがますます広がり、交流が深まることを祈念しております。

千葉支部長 藤本加代子（英大20）

第5回千葉支部 総会のご案内

日時 2016年3月5日（土）11時～14時（受付は10時30分から）

場所 東京ディズニーランドホテル 2階シンデレラドリーム

浦安市舞浜29-1（徒歩約8分）

JR舞浜駅南口を出て、右へ。ボン・ヴォヤージュ前を通過して、東京ディズニーランドへ向かってお進みください。

会費 10,000円（着席スタイルのコース料理、ドリンク、会場費、設備費などが含まれます。）

プログラム

受付 10:30～

総会 11:00～11:20

講演 11:30～12:30

シャンソン歌手/書アート作家/元法政大学教授 田嶋陽子様

『そのステージが変わる時

— 大学教授から政治家、そしてシャンソン歌手へ —』

懇親会 12:30～14:00 ご昼食、ご歓談



※ 未就学児の同伴をご遠慮ください。

※ 出欠について、以下の2通りのいずれかの方法で、**2月5日(金)**までにご連絡ください。
 なお、同姓同名の間違いを防ぐために、メールにはお名前、卒回、住所、電話番号を明記して下さい。

1. メール ochi2764@sunny.ocn.ne.jp (越智由美)
2. 裏面の葉書 (要52円切手)。

※ ご参加の方へ

恐れ入りますが、**2月19日(金)**までに同封の振込用紙で会計武井淳子宛にて会費をご入金ください。ご入金いただいた会費は、3月1日以降のキャンセルの場合、ご返金いたしかねますので、ご了承ください。ご不明な点がございましたら、以下にお電話ください（047-381-1196 苅谷美加代 午後8時までお願いします）。



【東京ディズニーランドホテル】

第 4 回千葉支部総会 (浦安市にて) 2015 年 3 月 27 日

予想以上の豪華な式、事務局の皆様のご尽力に感謝申し上げます。出産を機に退職、家庭に入りましたが、子育てだけでいいのか？ 悩む中で自分に喝を入れたくて参加させていただきました。向上心を忘れず、津田塾卒の名に恥じないように頑張っていくと思えます。本当にありがとうございました。

匿名



ミニニーが迎えてくれました。



にこやかに講演中の國枝学長。津田塾大学を取り巻く環境の変化など様々なお話、皆さん熱心に耳を傾けました。

地元浦安住民ですが、ディズニーランドホテルでお食事したのは 2 度目です。学長先生のお話、特に梅子先生が留学中、どういふ考えでもって勉学に励んでいらっしやったか、また、最近の大学を取り巻く環境の変化等、様々なお話を伺うことができ、大変有意義でした。

また、支部の皆様には大変お世話になりました。私自身、田舎と浦安を行ったり来たり生活を続けておりますが、また、何かお手伝いできたり、お会いできたりしたいと思います。ありがとうございました。

K. T.

幹事の皆様、大変お世話様でした！ Disney Land Hotel の趣向も楽しかったです。学長のお話で、変化の中にある大学の今を知り、感慨を新たにすると共に、津田という脈々と続いてきた流れに、私も同席させて頂いていることに喜びと誇りを感じました。一員としてこれからもがんばってまいります。

H. T.



フレンチコース料理を楽しみながらの歓談のひと時です。



参加者総勢 75 名 (+ 幼児 2 名) の圧巻のグループショットです。皆さんとパワーを分かち合うことができました。

第 4 回千葉支部総会 (浦安市にて) 2015 年 3 月 27 日

英大 32 回 吉田 伸枝

英大 32 回 高師(武野) 洋子

第 4 回千葉支部総会に参加して

3月28日に東京ディズニーランドホテルで開催された第4回千葉支部総会に初めて出席いたしました。千葉県民となって20年になりますが、あまり県民意識もなく、同窓会活動にも興味が薄く横のつながりもないため、出席にも一抹のためらいがありました。

幹事の浦安地区の皆様のご配慮で居住エリアごとにテーブルが作られていたため、初めての方はばかりでしたが言葉交わすこともでき、ディズニーらしいプレートの数々とともに楽しく会食することができました。

現学長の國枝マリ先生の講演「これからの津田塾大学一創設者生誕 150 周年を越えて」のお話も大変興味深く、殊に津田梅子と山川捨松の交友関係について、梅子は当初キャリアウーマンの道を捨てて軍人大山巖と結婚して家庭に入った捨松の生き方を否定していたこと。しかし捨松は後援会長として物心両面から梅子を支え、津田の発展を心から願っていたことから二人はお互いになくなくてはならない存在だったことを知り、改めて感動しました。

終了後は思いがけなく次期の幹事を千葉市でとのお話があり、同窓会の支部活動についてしっかり考えてみなければ、と思っております。

現支部長の藤本様初め浦安地区の皆様には大変お世話になりましたことを心より感謝申し上げます。



國枝学長の笑顔がとても印象的でした。

山川捨松のこと

今回初めて母塾の同窓会に参加させていただきました。お仲間がこんなに大勢いるなんて素晴らしいことです。総会では、國枝学長のお話が聞けて学生時代に戻れたような感激に浸りました。

印象深かったのは大山捨松と梅子の友情秘話です。捨松は、母塾設立のため梅子に惜しみない援助の手を差し伸べたそうですが、私の脳裏には、大好きだった「八重の桜」の一場面がよみがえってきました。

“鹿鳴館の花”と言われた捨松、彼女が華麗に踊る姿を見て、兄山川大蔵が、しみじみと言いました。

「わしら兄弟の中で、一番出世したのは、捨松かも知れんな。」

この言葉は衝撃的でした。二人の兄、大蔵も健次郎も、会津藩士でありながら、異例の出世を遂げています。特に、健次郎は東京帝国大学で物理学を教え、東京帝国大学総長にまで登りつめた人物です。

捨松は、大山巖夫人になることで、“鹿鳴館の花”としての地位を獲得するのですが、それ以前の捨松には就職先すらなく、「日本はなぜこんなに遅れているのだ」というジレンマに悩む日々が続いていたそうです。

大山は、薩摩出身の参議陸軍卿で、会津戦争にも参戦、連日連夜、会津城に砲弾の雨を降らせた人物です。当然、周囲は大反対、それでも捨松は大山との結婚を承諾します。やがて欧米との華やかな外交の時代を迎え、捨松の才能は“鹿鳴館の花”として開花しました。

大蔵自身も大反対していたので、上記の言葉が口から出たのかもしれない。

梅子の恩人ともなると、我々同窓生も会津藩に恩義があると感じるのは、私が「八重の桜」のファンだったからでしょうか？なお、山川大蔵を演じていたのは、朝ドラのマッサンだったのですが、私はそれを知らずに、「マッサン」をずっと見ていました。玉山鉄二の演技力に脱帽です。

以上、山川捨松について書かせていただきました。ありがとうございます。

ハガキをご利用になる方は、必要事項を記入してくださいね。



津田塾大学同窓会千葉支部 第 5 回総会

ご出席

ご欠席

お名前

卒業回数

ご住所 〒

TEL

e-mail

食物アレルギー 無・有 ()

通信欄